

原材料は全て食用素材だから安心・安全！

善玉菌のエサ

EMが活性しやすい栄養分をバランスよく配合し、糖蜜よりも手軽に活性液を作ることができます。



粉状



希望小売価格
<750g / 中袋> 1,650 円 (税込)
<150g / 小袋> 550 円 (税込)
<3kg / 大袋> 5,500 円 (税込)

1 色が薄くて使いやすい

- 完成した活性液の色が薄いので色が付きにくく、家庭内の掃除や消臭に使用可能。



2 溶けやすい

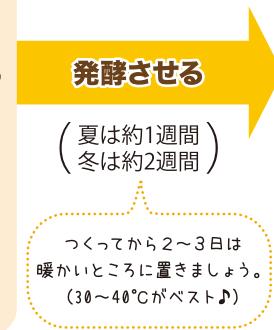
- 粉状なので、水に溶けやすい。
- 糖蜜のような液だれ無し!
- 冬場でもラクラク溶ける。

3 バツグンの発酵力

- EMが好む成分をバランスよく配合。
- EMが良く増えるので、常温でも良く発酵!

※ 常温は25℃程度です。

----- < 使用量の目安 > - 善玉菌のエサを使ったEM活性液のつくり方 - -----



株式会社 EM研究所

TEL : 054-277-0221 FAX : 054-277-0099

〒421-1223 静岡県静岡市葵区吉津 666

Web : <http://www.emlabo.co.jp>



サンキュー やさしい

EM研究所
製品ラインナップ
一覧▶



EMの詳しい情報はwebで!

EM研究所

ハウスクリーニングに大活躍！ 善玉菌のエサで白いEM活性液を作ろう！！

EM活性液の作り方

■用意するもの(2L分)

- ・EM1 : 30cc (大さじ2杯)
- ・善玉菌のエサ : 30g (付属のスプーン2杯または大さじ4杯)
- ・水 : 約2L
- ・きれいに洗った2Lのペットボトル : 1本
- ・ジョウゴ、ポウル



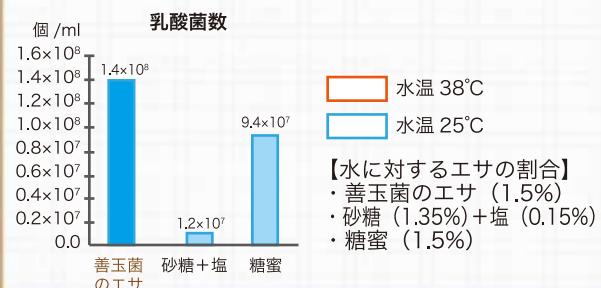
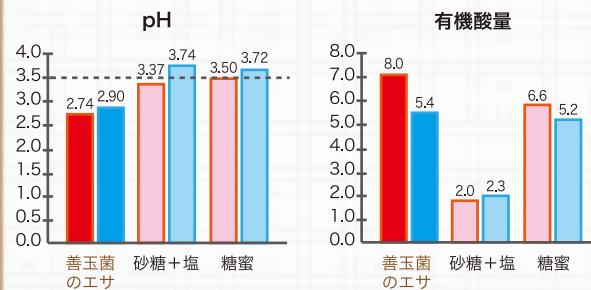
付属スプーン1杯は15g

EM1 500ml 善玉菌のエサ 中袋 750g

■作り方

- 1) ペットボトルの中に2/3くらいまで水を入れておく。
- 2) 善玉菌のエサとEM1を入れる。
- 3) ペットボトルの肩の位置までお湯を注いでよく振る。
※善玉菌のエサは水温が25°Cでもうまく発酵しますが、38~40°Cの水温の方がより失敗が少ないです。
- 4) しっかりフタをして、暖かい場所に置く。
※初期の温度管理が大事！仕込み開始から24~48時間は水温40°Cを保つようにするとEM培養がうまくいきます。
- 5) 2~3日後、ガスが発生してくるので、フタを緩めてガスを抜く。ガスを抜き終わったら、キャップはきちんと閉める。
※ガスが発生してきたら毎日ガス抜きをしてください。
- 6) 夏場は1週間、冬場は10日~2週間程度で完成。
※完成したEM活性液はなるべく早くご使用ください（完成後1ヶ月以内）。

善玉菌のエサを使用すると、pHがより低く、有機酸（有用成分）量が多く、水温25°Cでも安定して品質の高い活性液をつくることができます。



【水に対するエサの割合】
・善玉菌のエサ (1.5%)
・砂糖 (1.35%) + 塩 (0.15%)
・糖蜜 (1.5%)

《できあがりの目安》

におい

仕込み時の甘い香りが甘酸っぱい発酵臭になったら完成。



色

仕込み時と完成時は余り色の変化はありませんが、若干透明度が増します。



pH値

pH値が3.5以下になれば完成。

